

生き物調査・評価マニュアルを公開

農林水産省から島根県も参画して作成された「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル」が公開されました。

このマニュアルは、農林水産省が平成20年度から開始したプロジェクト研究「農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発」により作成・公開されたもので、島根県も水稲部門で研究に参加しました。ほ場での生き物調査の参考としてください。

マニュアルは、ほ場で観察した指標生物の個体数を点数化することで、環境保全型農業などの取組みが生物多様性の保全にどのくらい寄与しているのかを、客観的に評価する手法を提案しています。また、指標生物の種類や採点基準は、地域や作物での違いを考慮し、全国を6地域に分け、それぞれの代表的な作物ごとに示されています。

調査方法や対象生物の見分け方などが写真や図版を交えてわかりやすく書かれていますので、環境保全型農業やほ場の生物に関心のある農家の方など幅広く活用されることを期待しています。利用は、(独)農業環境技術研究所のホームページ(<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/shihyo/index.html>)からダウンロードしてください。



調査・評価マニュアル(I 調査法・評価法編 II 資料編)



アシナガグモ類の調査(すくい取り)

(1) 水田の指標生物主要種

A. アシナガグモ類 (P. 8~9)



(A-1)アシナガグモ 体長♂ (5~12mm)
♀ (8~14mm)



(A-2)ヤサガタアシナガグモ 体長♂ (4~10mm)
♀ (7~13.5mm)



(A-5)トガリアアシナガグモ 体長♂ (6~11mm)
♀ (8~15mm)